

■助産師基礎教育テキスト 2024年版改訂内容一覧表【第2巻】

2023年10月1日付発行

【改訂のポイント】

- ・ウィメンズヘルスケアの基礎知識、女性のライフサイクル各期の健康問題とケアについて、最新の内容を反映しました。
- ・国家試験出題基準の「女性の健康に関する支援」に関する項目を網羅し、国家試験対策としてより学びやすい構成としました。
- ・「不妊に悩む女性への支援」「性の多様性」の内容を大幅にアップデートしました。
- ・「ゲノム・遺伝医療と女性への支援」「プレコンセプションケア」「包括的性教育」の内容を追加しました。
- ・医学、助産学、母性看護学、法学の専門家、感染症対策コンサルタントなど多彩な執筆陣が解説しました。

新(2024年版)責任編集:吉沢豊予子	旧(2023年版)責任編集:吉沢豊予子
第1章 女性の身体のしくみ	第1章 女性の身体のしくみ
1. 成人の身体のしくみ 1 成人女性の内性器 2 成人男性の内性器 3 成人女性の外性器 4 成人男性の外性器 5 女性の骨盤・骨格のしくみ 6 女性の骨盤底筋群 7 骨盤内の血管・神経系 2. 女性の生理学 1 女性のホルモン動態 2 ホルモン分泌の周期性と卵巣の周期性 3 基礎体温の変化 4 月経周期に伴う身体的・精神的变化 5 女性の一生と性ホルモン 3. 女性が発症しやすい疾患 1 女性総合医療 2 性差医療 3 女性に特有な皮膚疾患 4 アンチエイジング医療	1. 成人の身体のしくみ 1 成人女性の内性器 2 成人男性の内性器 3 成人女性の外性器 4 成人男性の外性器 5 女性の骨盤・骨格のしくみ 6 女性の骨盤底筋群 7 骨盤内の血管・神経系 2. 女性の生理学 1 女性のホルモン動態 2 ホルモン分泌の周期性と卵巣の周期性 3 基礎体温の変化 4 月経周期に伴う身体的・精神的变化 5 女性の一生と性ホルモン 3. 女性が発症しやすい疾患 1 女性総合医療 2 性差医療 3 女性に特有な皮膚疾患 4 アンチエイジング医療
【第1章の主な変更点】 ・構成変更なし、最新の内容にアップデート	
第2章 生涯における女性のケア	第2章 生涯における女性のケア
1.ウィメンズヘルスケアとは何か 1 新しい女性の健康の枠組み 2 ウィメンズヘルスケアのポイント 2. 思春期女性のケア 1 思春期女性を取り巻く社会的環境とケア 2 思春期女性の成長と発達に応じたケア 3 思春期女性の健康問題 3. 成熟期女性のケア 1 成熟期女性の身体的発達 2 成熟期女性の心理社会的発達 3 女性を取り巻く社会環境 4 成熟期女性の健康と生活 5 成熟期女性に特有の病気とヘルスケア 4. 中高年女性のケア 1 中高年女性の発達 2 更年期女性の特徴 3 老年期女性の特徴 4 中高年女性の健康問題とヘルスケア 5. 女性の生涯と社会の移り変わり；貧困と格差が健康にもたらすもの 1 人口動態から見る女性の問題 2 労働形態から見えてくるもの 3 子育ての考え方 4 世界における日本女性の地位	1.ウィメンズヘルスケアとは何か 1 新しい女性の健康の枠組み 2 ウィメンズヘルスケアのポイント 2. 思春期女性のケア 1 思春期女性を取り巻く社会的環境とケア 2 思春期女性の成長と発達に応じたケア 3 思春期女性の健康問題 3. 成熟期女性のケア 1 成熟期女性の身体的発達 2 成熟期女性の心理社会的発達 3 女性を取り巻く社会環境 4 成熟期女性の健康と生活 5 成熟期女性に特有の病気とヘルスケア 4. 中高年のケア 1 中高年女性の発達 2 中高年女性の特徴 3 老年期女性の特徴 4 中高年女性の健康問題とヘルスケア 5. 女性の生涯と社会の移り変わり；貧困と格差が健康にもたらすもの 1 人口動態から見る女性の問題 2 労働形態から見えてくるもの 3 子育ての考え方 4 世界における日本女性の地位
【第2章の主な変更点】 ・持続可能な開発目標(SDGs)に関する母子保健上の課題、在留外国人母子への支援、グローバル化など社会的な動向を記載 ・国家試験出題基準に基づき内容をアップデート	

第3章 現代女性に特別に支援を要する健康問題	第3章 現代女性に特別に支援を要する健康問題
1. 不妊に悩む女性への支援 1 不妊症，不育症：女性側の原因・診断・治療 2 男性側の原因・診断・治療 3 不妊症・不育症の人への支援 2. ドメスティック・バイオレンスに悩む女性への支援 1 ドメスティック・バイオレンス（DV）とは 2 DVの現状とDV への取り組み 3 DVがもたらす健康問題と医療関係者の役割 4 DVと助産師の役割 3. 月経障害で悩む女性への支援 1 月経障害のアセスメント 2 月経のとらえ方 3 月経障害；月経困難症・PMS・PEMS 4 月経障害を緩和するための支援と日常生活支援 4. ゲノム・遺伝医療と女性への支援 1 遺伝の基礎知識 2 染色体異常，均衡型相互転座 3 単一遺伝子病（メンデル遺伝病） 4 染色体・遺伝子に関わる検査 5 遺伝性疾患の治療とケア	1. 不妊に悩む女性への支援 1 不妊にかかわる問題の特徴 2 不妊症の原因 3 一般不妊検査 4 特殊不妊検査 5 不妊治療の現状 6 不妊治療において自己決定が必要とされる状況 7 不妊女性の心理的特徴と支援 8 男性不妊の場合のカップルへの支援 9 不妊女性，家族の社会的資源と活用 2. ドメスティック・バイオレンスに悩む女性への支援 1 ドメスティック・バイオレンスとは 2 DVの現状とDVへの取り組み 3 DVがもたらす健康問題と医療関係者の役割 4 DVと助産師の役割 3. 月経障害で悩む女性への支援 1 月経障害のアセスメント 2 月経のとらえ方 3 月経障害；月経困難症・PMS・PEMS 4 月経障害を緩和するための支援と日常生活支援 4. 災害時の女性への支援 1 災害とは 2 災害の分類 3 災害におけるジェンダーと女性の健康 4 災害とジェンダー主流化 5 助産師として災害時に女性の健康へ支援できること
【第3章の主な変更点】 ・「不妊に悩む女性への支援」の内容を全面改訂し、執筆体制を変更 ・新たに「ゲノム・遺伝医療と女性への支援」の項目を設け、遺伝の基礎知識や疾患・ケアを整理 ・「災害時の女性への支援」はシリーズ3巻「助産サービス管理」に集約 ・執筆者の一部変更および内容の改訂	
第4章 性科学	第4章 性科学
1. 性科学の概念 1 セクシュアリティの歴史 2 セクシュアリティの概念の拡大 3 ジェンダー 2. 性行動とライフスタイル 1 性のとらえ方 2 性的欲望（快楽の性，大脳辺縁系） 3 性反応 4 セクシュアルライフスタイル 5 性行動 6 性の課題 7 生涯を通じたライフイベント，疾患罹患とセクシュアリティ	1. 性科学の概念 1 セクシュアリティの歴史 2 セックス，ジェンダー，セクシュアリティの関係 2. セックス；生物学的性別 1 性の判定における6つの基準 2 生殖器の発生学 3. ジェンダー；社会的性別 1 医療分野で使用されているジェンダー用語 2 女性の健康とジェンダー 3 生物学的性やジェンダーと関連のある健康 4 医学におけるジェンダーの方向性 4. セクシュアリティ；性的性別 1 性的欲望 2 性反応 3 性的指向 4 セクシュアルライフスタイル 5 性行動
【第4章の主な変更点】 ・旧第4章1～4を「性科学の概念」と「性行動とライフスタイル」に整理 ・「性科学の概念」の内容を改訂し、セクシュアリティとジェンダーを中心に解説 ・旧第4章2「セックス：生物学的性別」（性の文化と発達）は第5章「性の多様性」に移行	
第5章 性の多様性	第5章 性の多様性
1. 生物学的性別 1 性の判定における6つの基準 2 生殖器の発生学 2. 多様な性と医療、健康支援 1 多様な性の理解 2 性別不合の診療 3 性分化疾患の診療 3. 多様な性のあり方と法制度の課題 1 法律上の位置づけ 2 政策上の位置づけ 3 法政策の課題 4. LGBTQと家族形成支援 1 家族の多様性 2 LGBTQをめぐる家族形成と課題 3 LGBTQに対する家族形成と生殖補助医療	1. 性同一性障害 1 性同一性障害の診断と社会的背景 2 性同一性障害の診療の実際 3 性同一性障害の子ども 4 性同一性障害における家族の形成 2. 性分化疾患 1 性分化疾患とは 2 性分化疾患への初期対応 3 代表的な性分化疾患 3. 同性愛 1 性的指向の多様性 2 使用される言葉の意味すること
【第5章の主な変更点】 ・旧第4章2「生物学的性別」（性の分化と発達）を新第5章1に移動 ・旧題5章1～3の内容を新第5章2に集約し、国家試験出題基準の「性の多様性」に関する内容を網羅 ・「多様な性のあり方と法政策の課題」（性的マイノリティに関する社会的動向）、「LGBTQと家族形成支援」の内容を追加 ・執筆者の一部変更および内容の改訂	

第6章 性感染症とヘルスプロモーション	第6章 性感染症とヘルスプロモーション
1. 性感染症の変遷と疫学 1 性感染症の変遷 2 性感染症の疫学 2. 性感染症の診断・治療・ケア 1 性感染症にかかわる専門職のためのケアの原則 2 主な性感染症と診断・治療 3 性暴力被害者の診察とケア 3. 妊娠・出産・育児と性感染症 1 妊娠各期における取り組み課題 2 助産師に期待される役割；HIV感染症と梅毒を例に 4. 性感染症の予防 1 1次予防 2 2次予防 3 3次予防	1. 性感染症の変遷と疫学 1 性感染症の変遷 2 性感染症の疫学 2. 性感染症の診断・治療・ケア 1 性感染症にかかわる専門職のためのケアの原則 2 主な性感染症と診断・治療 3 性暴力被害者の診察とケア 3. 妊娠・出産・育児と性感染症 1 妊娠各期における取り組み課題 2 助産師に期待される役割；HIV感染症と梅毒を例に 4. 性感染症の予防 1 1次予防 2 2次予防 3 3次予防
【第6章の主な変更点】 ・構成変更なし、最新の内容にアップデート	
第7章 セクシュアルヘルス	第7章 セクシュアルヘルス
1. 家族計画の基礎知識 1 家族計画の意義 2 家族計画指導の必要性 3 家族計画の教育に必要な法的知識 4 避妊法指導における相談者へのインフォームドコンセント 2. 避妊法 1 基礎体温法 2 コンドーム法 3 子宮内避妊器具（IUD） 4 経口避妊薬（ピル） 5 緊急避妊ピル 6 その他の避妊法 3. セクシュアルカウンセリング 1 思春期のセクシュアルカウンセリング 2 青年期のセクシュアルカウンセリング 3 成熟期のセクシュアルカウンセリング 4 更年期からのセクシュアルカウンセリング 4. プレコンセプションケア 1 プレコンセプションケアとは 2 なぜ日本でプレコンセプションケアが必要か 3 リプロダクティブライフプラン 4 キャリアとリプロダクティブライフプラン 5 性成熟期女性へのプレコンセプションケア 6 健康問題を抱えている女性のプレコンセプションケア 5. 包括的な性教育 1 日本の性教育の考え方 2 包括的性教育 3 包括的性教育のキーコンセプト・トピックス・学習目標 4 包括的性教育とプレコンセプションケアとの関係	1. 家族計画の基礎知識 1 家族計画の意義 2 家族計画指導の必要性 3 家族計画の教育に必要な法的知識 4 避妊法指導における相談者へのインフォームドコンセント 2. 避妊法 1 基礎体温法 2 リズム法 3 オギノ式避妊法 4 コンドーム法 5 子宮内避妊器具（IUD） 6 経口避妊薬（ピル） 7 緊急避妊ピル 8 その他の避妊法 9 永久避妊法 3. セクシュアルカウンセリング 1 思春期のセクシュアルカウンセリング 2 青年期のセクシュアルカウンセリング 3 成熟期のセクシュアルカウンセリング 4 更年期からのセクシュアルカウンセリング 4. 健康教育としての性教育 1 性教育の考え方の変遷 2 助産師が行う健康教育としての性教育の展望 3 年代別の性教育の実際
【第7章の主な変更点】 ・新たに第7章4「プレコンセプションケア」を設け、女性のライフサイクル各期のケアを整理 ・性教育の内容を改訂し、性教育の考え方の変遷と「包括的性教育」を中心に解説 ・執筆者の一部変更および内容の改訂	